

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2018年 12月 3日作成

研究課題名	パルボシクリブによる好中球減少症の影響因子の検討
研究の対象	2017年12月から2018年11月までにパルボシクリブを1サイクル以上投与された進行再発乳癌患者さんを対象とします。
研究目的 ・方法	進行再発乳癌患者さんの新しい治療薬としてパルボシクリブ（商品名：イブランス）が使用されるようになりました。主な副作用として好中球減少症といって免疫が低下する副作用が起こるため注意が必要とされていますが、日本人乳癌患者さんに使用した場合の好中球減少症の発現率やリスク因子（副作用が起こりやすい方）などについては十分にわかっていません。本調査では実際にパルボシクリブを投与された患者さんの好中球減少症の出方を調べることで、副作用が起こりやすく注意が必要な患者さんを事前に予測するためのリスク因子を検討することを目的としています。
研究期間	西暦 2019年 2月 7日 ～ 西暦 2020年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	電子カルテからご協力いただいた患者さんの年齢、身長、体重や、これまでの乳がんに対する治療歴、パルボシクリブの投与量、副作用（好中球減少）などの情報を収集します。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部（研究責任者）徳丸 隼平 電話番号：045-261-5656（内線：2424） FAX：045-253-5343</p>	